

アカデミー賞受賞『それでも夜が明ける』キウエテル・イジョフォー初監督作品

## 23 カ国で翻訳され世界を感動で包んだベストセラーの映画化

# “電気を起こす風車”で村を救った 14 歳の少年の奇跡の実話 ひたむきな姿が学ぶことの大切さを伝えてくれる



2010 年に日本でも出版された 1 冊のノンフィクションが、世界を驚かせ、興奮させた。中等学校を退学になった 14 歳の少年が、当時人口のわずか 2%しか電気を使うことが出来ない、世界で最も貧しい国のひとつアフリカのマラウイで、自分の頭脳と手だけを頼りに発電することに成功したのだ。彼は家族と村の人々を救うだけでなく、大学へ進学し、2013 年にタイム誌の「世界を変える 30 人」選ばれるという素晴らしい人生も手に入れた。

この現代の奇跡に感銘を受けた、『それでも夜は明ける』の名優キウエテル・イジョフォーが、10 年の歳月をかけて初監督作品として映画化を実現。2019 年、サンダンス映画祭、ベルリン国際映画祭と立て続けに公式上映され熱い喝采を浴び、NY のプレミア試写会では、国連難民高等弁務官事務所特使も務める、名女優アンジェリーナ・ジョリーからも絶賛された。

学ぶことが、未来を切り開き、人生を豊かにしてくれる。それは子どもたちだけではなく、私たちすべての人々が生涯を通し忘れてはならないことなのだと言葉が教えてくれる。奇跡の実話。

## STORY

2001 年、アフリカの最貧困のひとつマラウイを大干ばつが襲う。14 歳のウィリアムは飢餓による貧困で学費を払えず通学を断念するが、図書館で一冊の本と出会い、独学で風力発電のできる風車をつくり、乾いた畑に水を引くことを思いつく。いまだに祈りで雨を降らせようとする村で、最愛の父でさえウィリアムの言葉に耳を貸さない。それでも家族を助けたいという彼のまっすぐな想いが、徐々に周りを動かし始める\_\_。



とても重いテーマにもかかわらず物語に引き込まれ、ウィリアム役の少年がとても愛おしくなりました。一つ一つのシーンから音楽まで、雄大で美しく非の打ち所のない作品です。アンジェリーナ・ジョリー女優/UNHCR特使監督(右)と原作者



## 当日の内容

- ・映画上映(113分)
- ・ユニセフ緊急レポート「気候変動と子ども」ミニ解説
- ・ユニセフ写真展「水・食糧危機」
- ・大阪暁光高等学校の生徒による「『風をつかまえた少年』を学んで」の発表と展示

日時: 11月3日(水) 文化の日

13:00~16:00

(受付 12:30~)

場所: ピースおおさか講堂

参加費: 無料

申込: 大阪ユニセフ協会に連絡

電話・FAX・メール・QRコード

TEL: 06-6645-5123

FAX: 06-6645-5124

Email: [un@unicef-osaka.jp](mailto:un@unicef-osaka.jp)



ピースおおさか講堂 (公益財団法人大阪国際平和センター)

〒540-0002 大阪市中央区大阪城 2 番 1 号 Tel. 06-6947-7208

電車・Osaka Metro 「森ノ宮」駅、1 番出口から西へ約 200m

・Osaka Metro 「谷町四丁目」駅から東へ約 1100m

・JR 大阪環状線「森ノ宮」駅、3 番出口から西へ約 400m

